**2017年3月改訂（第6版　新記載要領に基づく改訂、他）
*2009年6月改訂
医療機器承認番号：21500BZZ00081000

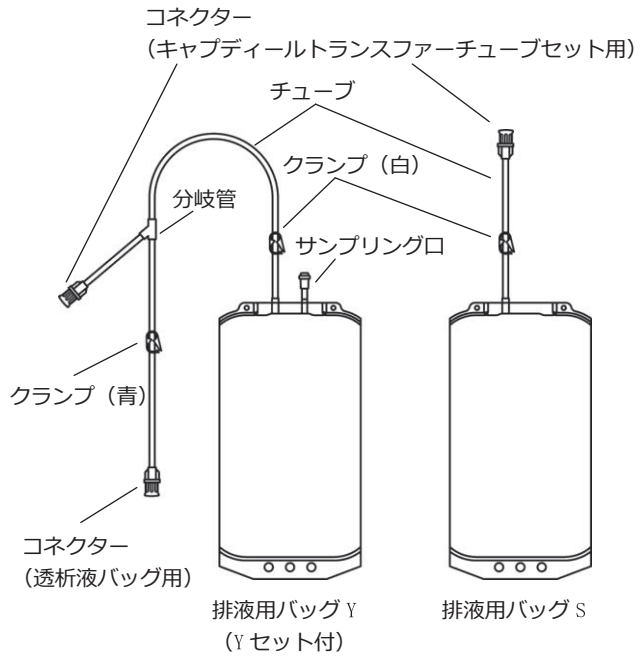
機械器具　7　内臓機能代用器
高度管理医療機器　　腹膜灌流液注排用チューブ及び関連用具セット　（JMDNコード：70591000）

# キャプディール排液用バッグ

再使用禁止

** **【禁忌・禁止】**
**＜使用方法＞**
** 再使用禁止、再滅菌禁止

**【形状・構造及び原理等】**
**＜構造図＞**




品種構成

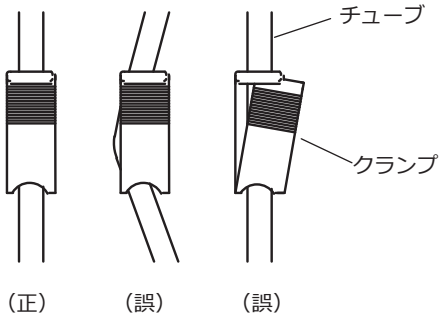
| コード番号 | 品　種 |
|---|---|
| CD-DBY | 排液用バッグY（Yセット付） |
| CD-DBS | 排液用バッグS |

** **＜血液、体液に接触する部分の原材料＞**
コネクター：ポリカーボネート、シリコーンゴム
チューブ、分岐管：ポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））

**【使用目的又は効果】**
**＜使用目的＞**
本品は、連続携行式腹膜灌流（CAPD）を行う際、腹腔内へ灌流液の排出・注入を行うものである。

**【使用方法等】**
1. 排液用バッグY（Yセット付）
キャプディールトランスファーチューブセット使用の場合
(1)「キャプディールトランスファーチューブセット（医療機器承認番号：16200BZZ00326000)」を本品のコネクター（キャプディールトランスファーチューブセット用）に接続し、排液する。
(2) 注液する場合は、本品のコネクター（透析液バッグ用）を透析液バッグのコネクターに接続し、注液する。
キャプディールTSCDトランスファーチューブセット使用の場合
(1)「キャプディールTSCDトランスファーチューブセット（医療機器承認番号：20600BZZ00239000)」に接続された延長チューブを本品のコネクター（キャプディールトランスファーチューブセット用）と分岐管の間のチューブに接合し、排液する。
(2) 注液する場合は、本品のコネクター（透析液バッグ用）と分岐管の間のチューブを透析液バッグのチューブに接合し、注液する。
2. 排液用バッグS
キャプディールトランスファーチューブセット使用の場合
キャプディールトランスファーチューブセットを本品のコネクター（キャプディールトランスファーチューブセット用）に接続し、排液する。
キャプディールTSCDトランスファーチューブセット使用の場合
キャプディールTSCDトランスファーチューブセットに接続された延長チューブを本品のチューブに接合し、排液する。

**【使用上の注意】**
**＜重要な基本的注意＞**
1. キャップを外したコネクターを上に向けないこと。［落下菌が侵入し、腹膜炎を併発する可能性がある。］
2. コネクターの内側を指等で触れないこと。接続部を不潔にした場合は、直ちに本品を交換すること。［腹膜炎を併発する可能性がある。］
3. バッグ及びチューブは、軟らかいプラスチック製なので、鋭利なもの等で傷つけないこと。［バッグやチューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じ、腹膜炎を併発する可能性がある。］
4. チューブ及びチューブと接合している箇所は、過度に引っ張るような負荷や押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。［チューブが破損する、又は接合部から抜ける可能性がある。］
5. クランプを閉じる際は、下図のように正しく閉じること。
［チューブの一部が閉塞されず、気密性が保たれない可能性がある。］




取扱説明書を必ずご参照ください。

**【保管方法及び有効期間等】**

**＜保管方法＞**

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

**＜有効期間＞**

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：**テルモ株式会社**

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター